北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　№.２６６

令和５年　６月２８日

「 考② ～修学旅行記・奈良公園～」

校長　江　口　　満

【前号からの続き】修学旅行当日の朝、九重キャンプ教室の思いを晴らすかのように、天候が回復した。近畿地方の天気予報も、修学旅行中の三日間だけピンポイントで晴マークになっている。ほとんど雨の心配もなく、三年生の皆さんと修学旅行へ出発できることに心から感謝した。

6月4日(日)修学旅行初日、則松中学校からバスに乗車し小倉駅に向かう。日曜日にもかかわらず先生方がお見送りに来てくださっていた。生徒の皆さんは、新幹線のおやつタイムで一気にヒートアップ。その勢いが大阪駅からのバスの中でも継続した。起床も早かっただろうし、お弁当を食べた後だったので、今までの経験値では、法隆寺までのバス中は比較的静かだったはず。「３年４組って、こんなクラスやったん？」明らかにイメージが変わった。担任のK先生の影響で、おとなしく上品なクラスという印象があったのだが…。少し当時の様子を再現する。

【右上】奈良・東大寺南大門「金剛力士像」
【左】東大寺大仏殿「盧舎那仏」を見上げる三年生の皆さん

バスガイドさん(以下、B)「則松中学校三年一組の皆さん。こんにちはー。」生徒(以下、S)「こんにちはー。」B「関西も気温が上昇して暑くなりそうですが、生徒の皆さんも気分を熱くしていきましょう。」S「イエーイ！」B「今日一日お供しますバズガイドの〇〇マヤノです。呼び捨てでいいですよー。」

S「マヤノー。」生徒もノリがいい。B「大阪と言えば？」S「たこ焼」「お好み焼き」「よしもと」「大阪城ー。」B「皆さんよく知ってますね。もう一つ、大阪と言えば…。大阪のおばちゃんでーす。」「そこで問題。アメちゃんくれる大阪のおばちゃんの見分け方、分かりますか？」S「ヒョウ柄！」B「正解！全員ヒョウ柄です！」S「イエーイ！」なんのこっちゃ。B「また大阪の名物と言えば、バスの中からも見える爆走チャリ！その爆走チャリになくてはならない装置が、大阪のチャリにはついています。何だかわかりますか？」S「タイヤ！」B「正解は、チャリに傘をつける道具、さすべえです。」S「イエーイ！」「あ、見つけた！」確かに装置がチャリについている。北九州にはない…。B「ところでこの辺りは大阪古墳世界遺産になった７１古墳群でーす！上から見ると古墳だと分かりやすいんですが、バスから見るとただの森です。」生徒「どこ？」「…」B「古墳の横を通ります。今の時間だけ私を信じてください！ブロッコリーのような森の茂み。古墳でーす！」S「イエーイ！」BとSの会話のキャッチボールをしているうちに奈良県へ入り、あっという間に、眠る暇もなく法隆寺へ到着した。そしてこの調子で奈良公園へ向かう。奈良公園では全く予測していない状況が生じたのである。【次号に続く】

「修学旅行という頂から見えるもの」　３年３組　Ｋさん

私達の旅路は、優しい表情をした空の下で始まった。皆の思いが叶ったのか、はたまた登山の頃に使っていなかったツキが回ってきたのか、いずれにしても幸先の良いスタートを切れて、本当に安堵した。

最初に訪れた法隆寺では、かって聖徳太子が見た景色と同じものを見ているのだと思うと、胸が高鳴った。次に訪れた東大寺では、とにかく巨大な大仏を見ることができた。現代に生きる私ですら驚かせてくれた聖武天皇。いつも歴史のテストで他の天皇と間違えてしまい申し訳ない。

たった一日で一年生の頃に学んだ地を、二つも訪れたのだから疲れもたまっていた。だがその分ホテルでの大浴場は最高だった。露天風呂では小島先生との熱いバトルを繰り広げた。あの時の私達は、今までになく心が一つになっていたと思う。

そして迎えた二日目。初日と同様にバスで多くの地を見ていった。一日目にも言えることだが特に二日目は、私のクラスの男子はバスガイドさんに首ったけだった。もちろん私もだ。嵐山の散策が終わって少し時間が余っていたので、多くの男子は彼女と写真を撮ってもらった。もちろん私もだ。形はどうであれ、私達はあまり興味のない歴史の話も集中して聞いた。この集中力を普段の授業にも活かしたいものだ。

最終日には念願の清水寺を訪れた。清水の舞台からの眺めは、私の大きすぎる期待を裏切らない絶景だった。「清水の舞台から飛び降りる」と耳にするが、私にはとてもおぞましい。

全ての観光を終えて駅に向かうバスが出発した瞬間、雨が降り出した。旅行中一番のミラクルだった。本当によかった。私達は「修学旅行」という山の頂まで登りつめた。そこからは「受験」という山が少し見えた。その景色を心に刻み、私達はさらに高い山へ登っていくのだ。

「書ききれないほどの思い出ができた修学旅行」　３年２組　Ｋさん

待ちに待った修学旅行を無事終えることができました。たくさんの思い出を二泊三日の中で作れたかなと思います。印象に残った思い出として、一日目は行きの新幹線で遊んだことです。友だちと話しながらお菓子を食べたり、写真を撮ったり、人狼ゲームをして遊んだりして楽しかったです。一日目に行った奈良公園も思い出に残っています。奈良・京都ならではの抹茶ソフトクリームを食べ、鹿のカチューシャを買って写真を撮って思い出を形に残すこともできました。そして一日目の最後の思い出は、やっぱり部屋でワイワイと五人で盛り上がり、ホテルの食事が多くてとても満足したことです。夜まで笑い合えて、本当にまた行きたいと思いました。

二日目の思い出といえば、まず友禅染体験です。あんまりセンスがない自分でも、元からある型で配置を考えて、世界で一つだけのハンカチを上手に作れました。次に一番楽しかった嵐山です。

まず雰囲気から良くて、そこで撮った写真も良く、またバスガイドさんの話にあった「賞味期限一分のあんバターたい焼き」を食べてみたら、今まで食べたたい焼きの中でも一番美味しく、生地はサクサクで良かったけれど、バターの量がすごく多く、バターが袋からこぼれて大変でした。楽しい思い出ばかりではなく、バスガイドさんの話を聞いてなかったり、部屋会議に遅れて学年スローガンを守れなかったりして怒られたけど、三日目にはしっかり意識するようにしました。

そして最終日には清水寺に行きました。京都ならではのお土産、見た目も味も良い食べ物、美しい景観の数々など、圧巻でした。まだここに書ききれないほどの思い出があります。怒られることもあったけど、すぐに切りかえて全行程で楽しみ、一生の思い出がつくれました。修学旅行に行ってよかったです。

【上】東大寺を見学後、奈良公園での自由時間の様子
【右】初日の宿泊先「奈良パークホテル」でのパフォーマンス